



## 数学答案の常識

どう考えて解いたかを必ず  
記し、最後まで解けなくても  
消さないこと

最後まで解けていなくても、必要な条件が  
押さえられていれば部分点をもらえることが  
あります。とにかく考えたことはすべて答案  
に残しま  
しょう。

「～より」「よって～」  
などの展開の理由や図は  
しっかり記すこと

言葉による説明や解答に使う図などは、  
常に書いておきましょう。「どう書いてあつ  
たら理解しやすいのか」、採点官の気持ち  
になって答案を作ることがポイントです。

使った公式をしっかりと書き、  
途中の計算式も  
省略しないこと

公式を書いて減点されることはありません。  
また、途中の計算式もすべて書いておけば、  
見直しの際に間違いをチェックしやすいです。

単純な計算ミスを  
見落とさないために、  
必ず見直し時間を確保すること  
計算ミスでの失点をなくすため、解き終わった  
後には必ず検算をしましょう。見直し時間が  
確保できる時間配分をしましょう。短時間で検  
算できるよう数字を丁寧に書くことも大切です。

## 英語答案の常識

「hとn」「vとr」など紛らわしい文字は丁寧に書くこと

紛らわしい文字はスペリングミスともとられかねません。英語以外の教科にも言えること  
ですが、答案は「人に見てもらえるものだ」という意識を持って、丁寧に文字を書きましょう。

設問の指示は丁寧に読むこと

たとえ内容が正しくても、指示を無視して書かれた答案は点になりません。問題文は注意  
深く読んで、設問の指示を見落とさないようにしましょう。

和訳はわかることだけでも  
とにかく書いてみることに

わからない単語が出てきたからといって、あき  
らめてはいけません。主語と述語だけでも探  
し出して書いてみる、わかる単語から推測し  
て書いてみるなどの粘りが大切です。

文法上のケアレスミスには  
十分注意すること

「3人称・単数・現在の-s」を忘れる、時制を間  
違えるなど文法上のケアレスミスは意外に多  
いです。しっかり見直して、無駄な失点をしな  
いように気をつけましょう。

## (2) 実施範囲

国語	必答問題 次の問題より1題	①現代文・評論 ②現代文・小説 ③古文 ④漢文 ⑤古文
数学	必答問題 次の範囲より2題	数と式 2次関数 図形と計量 場合の数と確率(条件つき確率は除く) 整数の性質 図形の性質(作図は除く)
英語	次の範囲より1題 必答問題	①リスニング ②会話表現 ③発音・アクセント ④文法・語法 ⑤長文読解 ⑥長文読解 ⑦表現力

## (4) KUタイム(模試直後学習会)

- 希望者は問題と解答を持って参加する。  
1月28日(月) 数学(16:00~17:00)  
1月29日(火) 英語(17:00~18:00)  
1月30日(水) 国語(16:00~17:00)

※これまでの学習内容をしっかりと定着させるためには、校外模試を受験したあと、  
しっかりと振り返るKUタイム(直後学習会)が大切です。また、当日行う自己採点も  
非常に効果的です。